学校番号	324

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「公共　新訂版」(実教出版)						
副教材等	「フォーラム公共」（東京法令出版）、用語集「公共」（清水書院）、「学習事項の整理と問題 公共ノート」（第一学習社）、「NEW COM.-PASS　ノート公共」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間と社会の在り方に関する現代の諸課題について考察する。そのことを通して、グローバル化する国際社会に広い視野をもって主体的に生きる平和な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し、選択、判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解していること。 ・諸資料から、現代社会に生きる主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができること。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を理解していること。 ・上記諸課題を多面的かつ公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりすることができること。	・よりよい社会の実現のために、現代社会の担い手として、現代社会の諸課題を正しく理解し、主体的に解決しようと努力する姿勢を有していること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章社会を作る私たち	１．青年期と自己形成 〇なぜ青年期が生まれたのか ・人生における青年期の意義を理解する。 〇第二の誕生とは何か ・青年期の特徴を理解する。 〇青年期の発達課題とは何か ・青年期の発達課題を理解する。	a:・青年期の意義と特徴について理解している。 ・p.9の原典資料「第二の誕生」から，第二の誕生がどのような状態であるかについて読み取ることができる。 ・ライフサイクルのなかの青年期の発達課題について理解している。 b:・人生における青年期の意義と特徴について，p.9「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c:・よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト，定期考査，準拠演習ノート	定期考査，レポート，ノート，準拠演習ノート	活動の様子の観察，レポート，口頭発表
		２．自己形成の課題 〇自己肯定感をもつにはどうすればよいか ・自己肯定感の重要性を理解し，高めるための具体的な方法を考察する。 〇葛藤や欲求不満にどのように対処すればよいのか ・葛藤や欲求不満が生じる原因を分析し，適切な対処法を選択・実行するための知識を習得する。 〇パーソナリティはどのように形成されるか ・パーソナリティの形成における様々な要因（遺伝，環境，経験など）の影響を理解し，自己のパーソナリティ形成を振り返る。	a:・葛藤や欲求不満とその対処法について理解している。 ・パーソナリティの形成にかかわる要因の理論について理解している。 b:・自己肯定感を高めるための具体的な方法を，自身の経験や周囲の状況を踏まえて多角的に考察し，論理的に説明している。 ・望ましい自己のあり方と自己形成について，p.11「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c:・よりよい社会の実現を視野に，自己形成の課題への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			

		３．キャリアと社会参加 〇キャリアとは何か ・キャリアの概念を多角的に理解する。（p.12） ・自己のキャリア形成について考察する。 〇社会に参加することはなぜ大切なのか ・社会参加の意義を理解する。（p.13） ・より良い社会の実現に向けて，自らがどのように社会参加できるか検討する。	a: ・キャリアとはどのようなものを指しているのか，構成要素を理解している。 ・社会参加やボランティアを通じて，社会とのかかわりが自己の形成につながること，また他者とともに協働して生きることの重要性について理解している。 b: ・キャリアを多角的に捉え，自己の価値観や興味・関心と関連付けて，将来のキャリアプランを構想している。 ・社会参加の意義を，社会の持続可能性や個人の自己実現の観点から多面的に考察し，適切に表現している。 c: ・よりよい社会の実現を視野に，職業や社会参加の意義への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			
		４．伝統・文化と私たち 〇日本人の自然観とはどのようなものか ・日本人の自然観の特徴を，神道，アニミズム，風土などのキーワードを通して理解する。（p.14） 〇日本人の倫理観とはどのようなものか ・日本人の倫理観の形成における，古代の清明心，儒学，などの影響について考察する。（p.14-15） 〇近代化以降の日本の思想的課題とは何か ・近代化以降の日本の思想的課題について，福沢諭吉，夏目漱石，和辻哲郎らの思想を手がかりに考察する。（p.15，Try）	a: ・日本人の伝統的な自然観の特徴について理解している。 ・日本人の伝統的な倫理観の特徴について理解している。 ・近代以降の思想家たちが，人間の生き方やあり方をどのように説いているのかを理解している。 b: ・国際社会に生きるために，日本人が身に付けるべき態度について，p.15「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c: ・よりよい社会の実現を視野に，日本人の伝統的な考え方や文化への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			

	第2章　人間としてよく生きる	1. 古代ギリシアの人間観 〇「よく生きる」とはどういうことか ・ソクラテスの「無知の知」と「魂への配慮」を通して，よく生きることの意味を考察する。(p.16) 〇イデアやエロースとは何か ・プラトンのイデア論とエロースの概念を理解し，理想的な生き方について考察する。(p.17) 〇アリストテレスの考える幸福はどのように実現されるか ・アリストテレスの徳倫理と中庸の考え方を理解し，幸福の実現について考察する。(p.17)	a:　・ソクラテスが唱えた，「よく生きる」ことが何であるかを理解している。 ・人間の幸福な生き方についてのソクラテス，プラトン，アリストテレスの考え方を理解している。 b:　・なぜ極端や過不足を退けた中庸を選択するべきと考えられるのか，協働的に考察し，その結果を適切に表現している。 ・ソクラテス，プラトン，アリストテレスによる理想的な人間の生き方がどのようなものであったか，p. 19「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c:　・よりよい社会の実現を視野に，理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			
		2. 宗教と人間 〇キリスト教が説く愛とはどのようなものか ・キリスト教における愛(アガペー)の概念とその特徴を理解する。(p.18，Keyword1，イエスの言葉を参照) 〇イスラームは信者の生き方について，どのように説いているか ・イスラームにおける神(アッラー)のとらえ方と社会連帯の重要性を理解する。(p.18) 〇仏教は人間をどのようにとらえているか ・仏教における苦の概念，縁起の思想，涅槃の境地を理解する。(p.19)	a:　・キリスト教における愛（アガペー）の概念，原罪と贖罪の思想を理解している。 ・イスラームにおけるアッラーの捉え方，六信五行，社会連帯の重要性を理解している。 ・仏教における苦の概念，縁起，諸行無常，涅槃寂静の概念を理解している。 b:　・キリスト教，イスラーム，仏教の人間観や倫理観を比較し，それぞれの共通点や相違点を多角的に考察している。 ・現代社会における様々な問題（貧困，差別，紛争など）に対して，それぞれの宗教がどのような解決策を提示しているか考察し，自らの考えを適切に表現している。 ・それぞれの宗教が説く人間や			

			人間の生き方について，p.19「Try」を利用して，現代社会における意義や課題を考察し，説明できる。 c：・多様な宗教や文化に対する関心を高め，自ら学び続けようとしている。 ・異なる宗教や価値観を持つ人々との対話を通して，相互理解を深めようとしている。			
		３．科学と人間 〇帰納法と演繹法とは，どのような学問の方法か ・ベーコンとデカルトの思想を手がかりに，帰納法･経験論と演繹法･合理論の違いを理解する。（p.20-21，図） 〇近代科学の課題とは何か ・近代科学がもたらした成果と課題について理解する。（p.20-21） ・科学と人間との関係について考察し，説明する。（p.21 Try）	a：・新しい学問のあり方を唱えたベーコンとデカルトの考え方について理解している。 ・p.20 の Check を通じて，経験についてのベーコンの考え方を読み取ることができる。 ・p.21 の Check を通じて，「考える私」についてのデカルトの考え方を読み取ることができる。 b：・帰納法と演繹法について，どのような例が考えられるかを協働的に考察・検討し，それらを適切に表現している。 ・科学技術の発展がもたらす倫理的な問題点や環境問題について，協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，近代ヨーロッパでうまれた科学的な考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			
		４．自由の実現 〇カントは自由についてどのように考えたか ・カントの道徳哲学における自由（意志の自由，自律）の概念を理解する。（p.22） ・カントにおける人格の尊厳の考え方を理解する。（p.23）	a：・自由と人間の尊厳についてのカントの考え方を理解している。 ・自由についてのヘーゲルの考え方を理解している。 ・p.22 の Check を通じて，カントの善意志の考え方を読み取ることができる。 b：・日常生活の中で，仮言命法と定言命法であらわされる物事			

		○ヘーゲルは自由についてどのように考えたか ・ヘーゲルの弁証法的な自由の捉え方(人倫)を理解する。（p.23，図）	にはどのようなものがあるか，協働的に考察している。 ・カントが考えた自由とヘーゲルが考えた自由について，p.23「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，人間の自由についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			
		５．社会を作る人間 ○サルトルは，人間のあり方と社会参画についてどのように考えたか ・サルトルの実存主義思想における自由と責任の関係を理解する。（p.24） ・サルトルの言うアンガージュマン(社会参画)の意味を理解する。（p.24） ○ハーバーマスやアーレントは，どのようにして公共性を実現しようと考えたか ・ハーバーマスのコミュニケーション的行為の理論における対話的理性の重要性を理解する。（p.25） ・アーレントの言う活動（労働，仕事，活動の区別）と公共性の概念を理解する。（p.25）	a：・人間の自由と社会参画について思索した，サルトルの考え方を理解している。 ・公共性の確立をめざした，ハーバーマスとアーレントの考え方を理解している。 ・p.25 の Check を通じて，市民的公共性についてのハーバーマスの考え方を読み取ることができる。 ・p.25 の Check を通じて，人間の活動についてのアーレントの考え方を読み取ることができる。 b：・社会参画によって望ましい社会を形成するとはどういうことか，多面的に考察している。 ・よりよい社会をつくるために思想家たちが重視したことについて，p.25「TRY」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，社会参画や他者とともに公共性を確立することついての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			

	第3章他者とともに生きる	１．人間と幸福 〇功利主義とはどのような考え方か ・功利主義の基本的な考え方（最大多数の最大幸福）を理解する。（p.26） 〇ベンサムの功利主義とミルの功利主義の違いは何か ・ベンサムの功利主義（量的功利主義）とミルの功利主義（質的功利主義）の特徴を理解する。（p.26）	a: ・個人の幸福と社会の幸福の調和をめざした，ベンサムとミルの考え方を理解している。 ・p.26 の Check を通じて，人間についてのベンサムの考え方を読み取ることができる。 ・p.27「なるほど Q&A」を利用して，帰結主義と義務論の考え方について理解している。 b: ・トリアージの思考実験について，p.27「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・大規模開発の思考実験について，p.30～31「Trial」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c: ・よりよい社会の実現を視野に，個人の幸福と社会の幸福についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			
		２．公正な社会をめざして 〇ロールズが唱えた公正としての正義とは何か ・ロールズの正義論を，本文記述をもとにして理解する。（p.28） 〇センが重視する機能と潜在能力とは何か ・センの機能と潜在能力の概念を，本文記述をもとにして理解する。（p.28）	a: ・公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解している。 ・人々の潜在能力の拡大をめざした，センの考え方を理解している。 ・ロールズの正義論を批判した，リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を理解している。 ・p.29 の Check を通じて，ロールズとセンの正義のとらえ方を読み取ることができる。 b: ・現実社会における不公正の問題について，p.29「Active」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 ・生殖医療と自己決定権といった生命倫理の課題について，p.32「Trial」を利用して，協働的に考			

			察・構想し，それらを適切に表現している。 ・安楽死・尊厳死といった生命倫理の課題について，p.33「Trial」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c: ・よりよい社会の実現を視野に，社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。			

	第4章　民主社会の倫理	１．人間の尊厳と平等 ○人間の尊厳とは何か ・人間の尊厳の定義と，その根拠となる考え方を理解する。（p.34） ○人間が平等であるとはどういうことか ・人間の平等が意味する内容（機会の平等，結果の平等）を理解する。（p.35） ○差別や偏見はなぜ生まれるのか ・差別や偏見が生まれる原因を考察する。（p.35）	a：・人間の尊厳や平等について，その背景にある生命尊重と非暴力の思想や，個人の尊重の考え方を理解している。 ・差別を是正するための取り組みとして，男女共同参画の実現のためにおこなわれている措置を理解している。 ・差別や偏見を是正するために求められる，寛容の考え方を理解している。 ・p.34 の Check を通じて，人間の尊厳についてのパスカルの考え方を読み取ることができる。 b：・p.35 の Check を通じて，寛容についてのヴォルテールの考え方を読み取り，多面的に考察している。 ・現実社会における差別の問題について，p.35「Active」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 ・男女共同参画社会を実現するための望ましい方策について，p.38 「Active」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，人間の尊厳と平等，個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。			
		２．自由・権利と責任・義務 ○権利や自由とは何か ・権利と義務の関係を理解する。（p.36） ○自由権とはどのような権利か ・自由の概念を，理解する。（p.36） ・自由権の意義を理解する。（p.36）	a：・自由・権利と責任・義務の関係について理解している。 ・個人の自由・権利が認められるには，他者の自由・権利との調整が求められることについて理解している。 ・世代間の正義の考え方を理解している。 b：・将来世代に影響を与える問題について，p.36「Try」を利用して多面的に考察し，適切に表現し			

		○世代間の正義とはどのような考え方か ・世代間の正義の概念を理解する。（p.36）	ている。 ・個人の自由と他者の自由の衝突といった問題について，p.37「Trial」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 ・社会が成り立つために必要なものについて，p.39「Trial」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。			

	第5章民主国家における基本原理	１．民主政治の成立 ２．民主政治の基本原理 〇政治とは何か ・政治の定義を理解する。（p.40） 〇国家, 政府, 公共とは何か ・国家, 政府, 公共の概念を，教科書記述をもとに理解する。（p.40） 〇民主政治の基本原理とは何か ・人権尊重, 国民主権, 権力分立について理解する。（p.40） 〇社会契約説とはどのような考え方か ・各思想家の主張を比較検討しながら理解する。（p.42） 〇基本的人権の保障はどのように拡大していったのだろうか ・基本的人権がどのように発展してきたか，歴史的経緯を理解する。（p.42，43） 〇法の支配と立憲主義はなぜ重要なのか ・法の支配と立憲主義の意義を，教科書記述をもとに理解する。（p.43）	a: ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b: ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c: ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。			

		３．民主政治のしくみと課題 ４．世界の主な政治制度 〇国民主権とは何か ・国民主権の意味と，それが民主政治の基本原理であることを理解する。（p.44） 〇多数決原理に基づいて運営される民主政治の課題は何か ・民主政治における少数意見の尊重と人権保障の必要性を理解する。（p.45） 〇権力分立はなぜ重要なのか ・権力分立の意義を理解する。（p.45） 〇イギリスの政治制度はどのようなしくみか ・議院内閣制の仕組みを理解する。（p.48） 〇アメリカの政治制度はどのようなしくみか ・大統領制の仕組みを理解する。（p.48） 〇中国の政治制度の特徴は何か ・民主的権力集中制の特徴を理解する。（p.49）	a:・議会制民主主義と多数決原理，民主政治の課題，権力分立の考え方について理解している。 ・p.45 の Check を通じて，ミルが考えた民主主義の課題を理解することができる。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について理解している。 ・p.48 の Check を通じて，議院内閣制と大統領制の特徴を比較の観点から読み取ることができる。 ・p.49「Try」を利用して，日本の政治制度との違いを読み取ることができる。 b:・憲法の最高法規性について，p.45「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・多数決の長所と短所について，p.46～47「Trial」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c:・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。			

	第1本国憲法の基本的性格	１．日本国憲法の成立 ２．日本国憲法の基本的性格 ○大日本帝国憲法はなぜ，外見的立憲主義といわれるのか ・大日本帝国憲法の制定の経緯,内容,特徴を理解する。（p.54） ○日本国憲法の制定過程を，歴史的事実とともに考えてみよう。 ・日本国憲法の制定過程を,GHQ の関与を含めて理解する。（p.55） ・日本国憲法の制定過程における様々な人々の思いや努力を理解する。（p.55，ベアテ・シロタ・ゴードン） ○日本国憲法の三大原理とは何か 日本国憲法の三つの基本原理に関する本文記述をもとに理解する。（p.56-57） ○なぜ憲法は最高法規とされているのか ・憲法が最高法規であることの意味を，本文近都をもとに理解する。（p.57） ○憲法改正にはどのような議論があるか ・憲法改正に関する手続きと議論を，本文記述をもとに理解する。（p.57） ３．自由に生きる権利 ４．平等に生きる権利 ５.社会権と参政権･請求権 ○なぜ自由権の保障が重要なのか ・自由権の意義と重要性	a: ・日本国憲法の成立の背景について理解している。 ・二つの憲法の原理と相違点について理解している。 ・p.54，55 の Check を通じて，明治憲法と日本国憲法の相違点を読み取ることができる。 ・日本国憲法の基本原理について理解している。 ・憲法の最高法規性について理解している。 ・p.57「なるほど Q&A」を利用して，憲法改正について，多面的に理解している。 ・p.52 ～53「法 Seminar」を通じて，法の意義と役割について理解している。 b: ・p.55「Try」を利用して，明治憲法が外見的立憲主義とされる理由について考察し，適切に表現している。 ・p.57 の Check を通じて，憲法改正の手続きについて多面的に考察している。 ・憲法の最高法規性について，p.57「Try」を利用して，適切に表現している。 c: ・憲法，法や規範の意義及び役割について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・日本国憲法の三大基本原理が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め，学んだ内容を基によりよい社会づくりに生かそうとしている。 a: ・自由権･平等権･社会権などの諸権利の内容について理解している。 ・冤罪や死刑制度，さまざまな差別，生存権の保障など，人権に関する現実社会の課題について理解している。			

		を理解する。（p.58） ○日本国憲法で保障されている自由権にはどのようなものがあるか ・日本国憲法で保障されている様々な自由権の内容を理解する。(p.58-59) ○憲法が定める平等とはどのようなものか ・平等権の意義と，日本国憲法における平等の原則を理解する。（p.60） ○社会にはどのような差別があり，その解消のためにどのような努力がなされているか 現代社会における様々な差別について，現状や原因，解消に向けた取り組みを理解する。(p.60-61) ○社会権とはどのようなものか 社会権の意義と，日本国憲法で保障されている社会権の内容を理解する。（p.62-63） ○社会権をめぐる訴訟は，どのようなことが焦点になったのだろうか ・朝日訴訟などの社会権をめぐる訴訟を通して，社会権の実現における課題を理解する。（p.62） ６．新しい人権 ７．人権の広がりと公共の福祉 ○新しい人権には，どのようなものがあるか ・新しい人権の内容と意義を理解する。(p.64-65) ○情報通信技術の進展によって，保障されるべき人権にはどのようなものがあるか	・p.58「なるほど Q&A」を利用して，表現の自由について，多面的に理解している。 ・p.62「なるほど Q&A」を利用して，生存権の保障について，多面的に理解している。 b: ・死刑制度の是非について，p.59「Opinion」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 ・女性管理職の割合を増やすための方策について，p.60 の Check を利用して，多面的に考察している。 ・差別の存在から目をそらさず，また，それを解消するための方法について，p.61「Try」を利用して，適切に表現している。 ・社会権の保障について，p.63「Try」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 c: ・各種の基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。 a: ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 ・p.66～67「法 Seminar」を通じて，情報化社会における法とモラルについて理解している。 ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて理解している。			

		・プライバシー侵害，表現の自由との衝突など，人権に与える影響を考察する。（p.66-67） ○人権は，歴史的にどのように多様化していったか ・人権の歴史的な多様化（自由権から社会権へ，社会的権力の登場，人権の国際化など）について理解する。（p.68） ○公共の福祉とは，どのような考え方なのだろうか ・公共の福祉の考え方を，本文記述や Active から理解する。（p.68-69） ８．平和主義とわが国の安全 ９．こんにちの防衛問題 ○憲法の平和主義とはどのようなものか ・日本国憲法の平和主義の意義と，その解釈をめぐる議論を理解する。（p.70） ・自衛隊の創設から現在に至るまでの経緯と，活動範囲の拡大について理解する。（p.70-71） ○自衛のための必要最小限度の実力とは何か ・日本国憲法で定められている平和主義と専守防衛の基本を理解する。（p.70） ○日米安保体制とはどのようなものか ・日米安保体制の成立と変遷，現状と課題を理解する。（p.72-73） ○湾岸戦争後，自衛隊の活動の幅はどれくらい広	・公共の福祉の内容について理解している。 b: ・知る権利がなぜ必要とされているのか，p.65「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について，p.69「Active」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 c: ・新しい人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・公共の福祉について主体的に追究することを通して，個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。 a: ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。 ・p.71 の Check を通じて，自衛権に関する政府解釈の変化を読み取ることができる。 ・p.71 の Check を通じて，日本国憲法と国際条約との共通点や相違点を理解することができる。 ・1990 年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 ・p.73「なるほど Q&A」を利用して，集団的自衛権について，多面的に理解している。 b: ・防衛関係費と社会情勢との関係について，p.70「Check」を利用して，多面的に考察している。 ・日米安保体制の必要性はどのように説明されているのか，p.71「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・沖縄の基地問題について，p.74～75「時事 NOTE」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。			

		くなっているのだろうか ・自衛隊の海外派遣を可能にした法整備について理解する。（p.71-72） 〇これからの安全保障体制は，平和主義との関係からどのように考えられるのか ・専守防衛と多国間の連携等をもとに，これからの日本の安全保障について多角的に考察する。（p.73）	c：・集団的自衛権について関心が高まっており，集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしうるかについて主体的に検討しようとしている。 ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			

	第2章　日本の政治機構と政治参加	１．政治機構と国会 ２．行政権と行政機能の拡大 ○国会は，憲法においてどのように位置づけられているのだろうか ・国権の最高機関，唯一の立法機関ということの意味を理解する。（p.76） ○国会において，国民主権はどのように実現されているのだろうか ・国会における国民主権の実現の仕組み（両院制，議員の選挙）を理解する。（p.76） ○国会と内閣の関係を確認しよう ・議院内閣制における国会と内閣の関係を理解する。（p.77） ○行政権がなぜ拡大したのか確認しよう ・福祉国家化や社会の複雑化の影響を理解する。（p.78） ○行政改革とはどのようなものだろうか ・行政改革の目的や内容を本文記述をもとに理解する。（p.79） ３．公正な裁判の保障 ○日本の裁判制度の枠組みを知ろう ・日本の裁判所の種類と役割を理解する。（p.80） ・裁判における三審制の意味を理解する。（p.80） ○「憲法の番人」とはどういう意味か ・違憲審査権の意義と，最高裁判所が「憲法の番人」と呼ばれる理由を理解する。（p.81）	a:・国会の役割や権限，運営について理解している。 ・p.77 の Check を通じて，衆議院の優越について理解することができる。 ・内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。 ・行政権の拡大と官僚政治の課題，その転換に向けたさまざまな改革について理解している。 b:・衆議院の優越について，p.77「Try」を利用して，適切に表現している。 ・p.78 の Check を通じて，議員立法に関する情報を読み取り，その課題について多面的に考察している。 ・国民による行政の監視について，p.79「Try」を利用して，適切に表現している。 c:・日本の政治機構について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・行政権の拡大について関心を深めており，官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。 a:・司法権の独立や裁判のしくみ，各裁判所の役割について理解している。 ・違憲審査権について理解している。 ・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。 b:・違憲審査権の行使のあり方について，p.81「Opinion」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 ・裁判員制度について，p.82～83「Navi」を利用して，多面的に考			

		○国民と司法の関係について理解を深めよう ・裁判員制度，検察審査会の内容と意義について理解する。（p.81）	察し，適切に表現している。 c：・違憲審査権の行使について主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に，司法のあり方について検討している。 ・p.84～85「Challenge」を利用して，司法参加の意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
		４．地方自治と住民福祉 ○地方自治は，なぜ「民主主義の学校」と呼ばれるのか ・住民自治，団体自治と，それが「民主主義の学校」と呼ばれる理由を理解する。（p.86） ・地方自治の仕組み（地方議会，首長，住民による直接請求）を理解する。（p.86-87） ○地方が抱える問題にはどのようなものがあるか ・現代の地方が抱える課題（財政難，過疎化・高齢化）を理解する。（p.87） ・地方創生に向けた様々な取り組みを理解する。（p.87）	a：・地方自治の本旨である，団体自治と住民自治について理解している。 ・地方自治の政治・経済的な課題について理解している。 ・住民自治に基づく住民の権利や住民投票など，住民の意思を反映させる手段について理解している。 ・p.86 の Check を通じて，地方公共団体の議会と長の選出について，読み取ることができる。 ・p.87 の Check を通じて，地方財政の課題を読み取ることができる。 ・p.88 の「時事 NOTE」を通じて，地域社会の課題と取り組みについて，理解している。 b：・地方財政や地方自治の現状について，客観的なデータに基づいて分析し，適切に表現している。 ・地域社会の課題について，p.88「Try」を利用して，多面的に考察している。 c：・住民投票について主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に，住民投票制度をどのように生かしていくかについて検討している。 ・p.89「Challenge」を利用して，地方自治について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			

		５．政党政治 ６．選挙制度 ○政党政治とは，どのようなものだろうか ・政党政治の意義と役割を理解する。（p.90） ○日本の政党政治は，歴史的にどのような課題があっただろうか ・金権政治，多党化，二大政党制の不確立などを理解する。（p.90-91） ○日本の選挙制度にはどのような特徴があるだろうか ・本文記述や表などから選挙制度の特徴を理解する。（p.92） ○日本の選挙制度の課題について知ろう ・一票の格差，投票率の低下，政治資金規正法などを理解する。(p.92-93)	a: ・政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 ・p.91「時事 NOTE」を利用して，日本の政党政治の現状について理解している。 ・p.90 の Check を通じて，日本の各政党の特徴を読み取ることができる。 ・p.91 の Check を通じて，戦後日本の政党政治の特徴を読み取ることができる。 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴，議員定数の不均衡などの課題について理解している。 ・p.92 の Check を通じて，選挙制度の特色を読み取ることができる。 b: ・政治資金の問題について，p.91「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・選挙の原則について，p.93「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c: ・政党の変遷について主体的に追究して，なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・選挙制度について関心を深めており，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。			
		７．世論と政治参加 ○マス・メディアの特徴を知ろう ・マス・メディアの役割と責任を理解する。（p.94） ・現代社会における情報操作の問題点を理解する。（p.94-95） ○世論を政治に反映させるためには，何が必要だろうか	a: ・マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 ・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。 ・p.94 の「Navi」を通じて，インターネットによる世論形成の課題について理解している。 ・p.95「なるほど Q&A」を利用して，民意を国政に反映させる多様な方法について理解している。			

		・政治参加の方法（選挙，署名活動，デモ行進など）を理解する。（p.95） ・世論を政治に反映させるために必要な要素（国民の関心，メディアの役割，公正な選挙など）を考察する。（p.95）	b: ・インターネットで情報を収集するときに気をつけるべきことについて，p.95「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・政治への参加について，p.96 ～ 97 「 Navi 」 と p.98 ～ 99 「Challenge」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 c: ・政治と民意の関係について主体的に追究し，民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。 ・政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている			

後期	第1章　現代の経済社会	１．経済主体と経済活動の意義 ２．経済社会の変容 〇経済活動は，どのように営まれているのか ・経済活動の意義（生産，分配，消費の循環）を理解する。（p.102） 〇経済はどのような主体が担っているか ・各経済主体の役割を理解する。（p.102） 〇資源はどのように配分されていくのか ・資源の希少性と配分に関するトレードオフを理解する。（p.103） 〇資本主義経済とはどのような体制だろうか ・資本主義経済の特徴（利潤追求の自由，生産手段の私有）を理解する。（p.104） 〇経済社会はどのように変容していったか ・経済社会が歴史的に変容してきた過程（産業革命，世界恐慌，修正資本主義，新自由主義）を理解する。（p.104-105） 〇社会主義経済とはどのような体制だろうか ・社会主義経済の特徴（計画経済，生産手段の公有化）と，その変容について理解する。（p.105） ３．市場のしくみ ４．市場の失敗 〇価格はどのようにして決まるのか ・市場の定義と，自由な取引を通じて価格と生産量が決まる仕組みを理解する。（p.106）	a:・生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。 ・資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 ・社会主義経済の特徴（計画経済，生産手段の公有化）と，その変容について理解している。 b:・資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 ・資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 ・貧困，格差，環境問題など現代社会が抱える様々な経済問題に対し，それぞれの経済体制がどのような解決策を提示しているか，考察している。 ・技術革新と生産性の向上を前提に，どのような経済社会が望ましいかを，p.105「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 c:・よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 a:・需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。			

		○需要量と供給量があわない場合，市場はどのような機能を発揮するか ・需要曲線と供給曲線の概念を理解し，均衡価格が決定されるメカニズムを説明できる。（p.106-107） ○寡占や独占は，消費者にとってどのような不利益があるか ・市場メカニズムが機能しない場合について，その原因と消費者への影響を考察する。（p.107, 108） ○市場の失敗の例を確認しよう ・市場の失敗の具体例を，本文記述をもとに理解する。（p.108-109） ・市場の失敗に対する政府の役割（規制，課税，補助金）を考察する。（p.109）	b: ・現代社会における市場の失敗の事例を分析し，その原因と解決策について多角的に考察している。 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: ・p.107 の「Try」を活用し，需要曲線と供給曲線のシフトする例を意欲的に見出そうとしている。 ・市場の効率性と公平性について，p.109「Opinion」を利用し，主体的に考えを導きだそうとしている。			
		５．現代の企業 ○企業にはどのような種類があるだろうか ・様々な企業形態（私企業，公企業，会社，組合）の種類と特徴を理解する。（p.110） ○株式会社のしくみを確認しよう ・株式会社の仕組み（株主，取締役会，監査役）と特徴（有限責任）を理解する。（p.110） ○企業の社会的責任とは何だろうか ・企業の社会的責任と利害関係者の存在を理解する。（p.111）	a: ・有限責任と無限責任の考え方について理解している。 ・株式会社の仕組みについて，p.110 の図２を利用しながら，株主と経営者との関係を理解している。 ・p.112 のなるほど Q&A を利用して，株式売買に関する考え方を理解している。 b: ・株式会社の所有と経営の分離について，メリットとデメリットを考察している。 ・現代の企業の社会的責任（CSR）について多角的に考察し，自らの考えを論理的に表現している。 ・株主として企業に関わることの意義や課題を，具体的な事例を通して考察している。 c: ・企業の社会的責任や法令順			

			守の姿勢について主体的に追究して，企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・社会の課題を解決する会社をどのように起業していくか，主体的に考察しようとしている。			
		６．国民所得 ７．経済成長と国民の福祉 〇経済的な豊かさをはかる指標には，どのようなものがあるだろうか ・GDP，GNI，NI の定義と相互の関係を理解する。（p.116） 〇三面等価とは何だろうか ・三面等価の原則を理解する。（p.116） 〇物価変動の原因や影響は，どのようなものだろうか。 ・景気変動の要因やパターン，経済指標との関係を理解する。（p.117） ・インフレーション，デフレーションの定義と生活への影響を理解する。（p.118） 〇GDP などの経済指標以外に「豊かさ」を示すものとは，どのようなものだろうか。 ・GDP の限界を認識し，NNW やグリーン GDP など，新たな指標の必要性を理解する。（p.118-119）	a：・NI の生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに，３つが理論的に同額になることを理解している。 ・現在においては，GDP などの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標，社会的側面からの指標などがあることを理解している。 b：・景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：・経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。			
		８．金融の役割 ９．日本銀行の役割 〇経済活動に金融が必要なのはなぜだろうか	a：・金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ，生産性を高め，社会			

		・金融の意義（資金の仲介，信用創造）を理解する。（p.120） ○金融はどのような主体が担っているのだろうか ・様々な金融機関（銀行，証券会社，保険会社）とその役割を理解する。（p.120-121） ○日本銀行の役割を確認しよう ・日本銀行の役割（発券銀行，政府の銀行，銀行の銀行）を理解する。（p.122） ○日本銀行の金融政策は，どのようにして決定されているのだろうか ・日本銀行の金融政策と政策決定のプロセスを理解する。（p.122-123） ○バブル経済以降の金融政策に注目しよう ・非伝統的金融政策とその変遷を理解する。（p.122-123）	を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 b: ・景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: ・金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 ・金融商品についての関心を高めており，リスクとリターンの関係などをよく理解したうえで，無理のない資金運用を心がけようとするなど，学習したことを社会生活に生かそうとしている。			
		１０．財政の役割と租税 １１．日本の財政の課題 ○財政がもつ三つの機能を確認しよう ・財政の三つの機能（資源配分，所得再分配，経済の安定化）について理解する。（p.126-127） ○租税の種類と特徴について確認しよう ・具体的な租税と特徴を理解する。（p.127） ○これまでどのように税制改革が行われたのだろうか ・日本の税制改革の歴史（所得税，消費税，税率など）を理解する。（p.128）	a: ・政府の経済政策には，効率と公正，経済成長と環境保全など，相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることを理解している。 ・p. 126 の図２を利用して，一般会計歳出がどのように推移してきたかを適切に読み取ることができる。 ・公平・中立・簡素の条件を満たすことが税制を構築する上で重要であることを理解している。 b: ・一般会計歳出について，なぜこれほど大きく伸びているのかについて協働的に考察し，それらを適切に表現している。 ・財政再建の方策について，実現可能性を考慮に入れながら多面			

		○財政再建をどのように進めるべきだろうか ・財政の現状と課題（国債依存度,財政赤字)を理解する。（p.128-129） ・財政再建の必要性と，その方法(歳出削減,歳入増加)について考察する。（p.130-131）	的・多角的に考察，構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c：・p.127の「check」を活用し，公平な税負担について,主体的に考えを導きだそうとしている。 ・p.130の「Active」を活用し，財政再建をどのようにすすめるべきか，また，増税する場合はどの税の税率を上げるべきかについて主体的に追究し,課題を意欲的に解決しようとしている。			

	第2章　日本経済の特質と国民生活	１．戦後日本経済の成長と課題 ２．転機に立つ日本経済 ○日本はどのように復興したのだろうか ・戦後日本の復興過程を理解する。（p.132） ○高度経済成長を実現した要因は何か ・高度経済成長の要因を本文記述をもとに理解する。（p.132） ○バブル経済崩壊後の日本経済は，どのような状況になったのだろうか ・バブル経済とその崩壊，長期不況という一連の流れと，その原因・影響を理解する。(p.132-133) ・失われた 10 年以降の日本経済の現状を把握する。（p.133） ○人口減少社会の課題とは何だろうか，それぞれ確認していこう ・人口減少・少子高齢化が経済・社会に及ぼす影響を理解する。（p.134） ○格差問題を解決するためには，どのような課題があるだろうか ・現代日本が抱える格差問題の現状と要因を理解する。（p.134-135） ３．経済社会の変化と中小企業 ○大企業と中小企業の違いは何だろうか ・大企業と中小企業の定義（規模，経営資源）を確認する。（p.136） ○中小企業は，日本経済においてどのような役割を担っているのだろうか	a: ・戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 ・高度経済成長期，安定成長期，現在の成長率について，p. 132 の図１から傾向を適切に読み取り，把握している。 ・p. 133 の図から「失われた 10 年」の実態を適切に読み取り，理解している b: ・2000 年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察している。 ・人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで，そのための経済政策を選択・判断し，表現している。 c: ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 a: ・p. 136 の図１～３から情報を適切に読み取り，中小企業と大企業の違いを理解している。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り，事業承継が課題となっていることを理解して			

		・中小企業が日本経済に占める割合や役割を理解する。（p.136-137） ・中小企業が抱える課題（経営基盤，後継者不足）を理解する。（p.136）	いる。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように，大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解している。 b：・日本経済における中小企業の構造的な課題について，大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 ・日本経済の基盤ともいえる中小企業が，自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か，協働的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：・社会的企業が社会問題の解決を目指して活動していることに対して興味をもち，どのような分野で活動が行えるのかといったことを主体的に追究している。 ・中小企業が経済の基盤ともなっていることに加え，ベンチャー企業や社会的企業が果たしている役割に注目し，これらの学習の成果を将来の職業選択などにおいて生かそうとしている。			
		４．農業と食料問題 〇日本の農業の歴史的な流れをつかもう ・日本の農業の歴史的な流れを，本文記述もとに理解する。（p.138） ・食料自給率の現状と課題を理解する。（p.139） 〇グローバル化のなか，日本の農業にはどのような課題があるのだろうか。 ・日本の農業が抱える課題を理解する。（p.138） ・グローバル化が日本の農業に与える影響を理解する。（p.139）	a：・教科書本文と p. 138 の図１から，農家数の推移や農家の構成などを適切に読み取り，日本の農業における担い手の問題を理解している。 ・農業基本法や食料・農業・農村基本法，食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解している。 ・食糧安全保障の観点から，日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。 ・農業法人による大規模化や６次産業の進展，スマート農業の振興など，日本の農業の新しい流れについて理解している。 b：・所得補償金などによって小			

			規模農家を保護するべきか，規制緩和で大規模経営を振興するべきか，といった観点で日本の農業について協働的に考察・構想や政策判断をし，それらを適切に表現している。 ・農業の担い手を増やすことについて問いを見出し，農地法の改正，6 次産業化や高付加価値農産品，スマート農業の進展などの観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：・食糧安全保障について主体的に追究して，自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・6 次産業化や高付加価値農産品，スマート農業の進展など農政の新しい動きに注目し，これらの学習の成果を将来の職業選択などにおいて生かそうとしている。			
		５．消費者問題 〇消費者をめぐる法律が作られてきた歴史を確認しよう ・消費者をめぐる法律の制定状況を，本文記述をもとにして理解する。（p.140-141） 〇契約で気をつけるべきことを確認しよう ・契約における消費者の権利と責任について，本文記述や特集ページをもとに理解する（p141-145）	a：・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 ・消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り，求められる消費者像の変遷について理解している。 ・消費者相談の実態について，p. 140 の図２を活用し，また，国民生活センターのウェブサイトから情報を適切に読み取り，それらをまとめることができる。 ・契約の効力が発生する要件や，消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 b：・消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 ・消費者の権利と責任について，			

			自由と義務の観点から整理し，レポートにまとめるなど適切に表現している。 ・契約のあり方について，p.143の「Navi」を活用しながら，問題点を協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c：・消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に，消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。			
		６．公害の防止と環境保全 〇公害には，どのようなものがあるだろうか ・過去の公害事件の発生原因，被害，影響を理解する。（p.146） ・公害防止に関する法制度の概要を理解する。（p.146-147） 〇循環型社会の実現に向けて，解決すべき課題とは何だろうか ・3Rの原則，グリーンコンシューマーについて理解する。（p.147）	a：・日本における公害の発生と原因を理解している。また，その際に p.146 図１の四大公害訴訟に関する表から，必要な情報を適切に読み取っている。 ・政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 ・循環型社会の理念を理解している。また，3Rの原則について理解し，その実態をインターネットなどを活用して情報収集し，まとめることができる。 b：・環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している。 ・循環型社会の実現における課題を見出し，法制度と消費者の観点から協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：・日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで，今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して，課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に，循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを，社会生活			

			に生かそうとしている。			
		７．労働問題と労働者の権利 ８．今日の労働問題 〇労働者にはどのような権利があるか ・労働基本権の意義と内容を理解する。（p.148） 〇労働基本権と労働三権の特徴は何か ・労働基準法の定める労働条件の最低基準を理解する。（p.148） 〇労働者と使用者の関係は対等だろうか ・労働者を保護するための法制度の概要を理解する。（p.148-149） 〇日本型雇用形態の特徴は何だろうか ・日本の雇用慣行の特徴と変化を理解する。（p.149） 〇現在の日本には，どのような労働問題があるのだろうか ・非正規雇用の現状と課題（低賃金，不安定雇用）を理解する。（p.149） ・労働時間やハラスメントに関する問題について理解する。（p.150-151）	a: ・労働基本権と労働三法の内容について理解している。 ・職場における不当な差別的扱いがあってはならず，そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 ・具体的な労働問題について，p.150「Navi」を活用し，理解している。 ・日本的雇用形態の特徴を理解しており，また，それらのあり方が崩れてきていることを理解している。 ・労働環境について，各国比較によって日本の特徴を適切に読み取り，まとめることができる。 ・技術革新によって多様な働き方が可能になっており，ワーク・ライフ・バランスを図ることが重要になっていることを理解している。 b: ・なぜ労働法規によって労働者の権利保護が図られているのか協働的に考察し，それらを適切に表現している。 ・どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか，多面的に考察している。 ・非正規雇用の労働者が置かれている厳しい状況について，権利の保障や保護の観点から課題と解消のための政策を協働的に考察・構想し，それを適切に表現している。 ・安定した雇用を優先するか，多様な働き方を優先するか，それぞれの長短を検討する中で選択・判断し，適切に表現している。 ・望ましい働き方を実現するために，p.156 の Active を活用し，協働的に考察をおこない，それらを適切に表現している。			

			c: ・p.154 の「Navi」を活用して就業意識を高め，自らに適した職業の主体的に追究しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に，ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して，学習した内容を社会生活に生かそうとしている。			
		９．社会保障の役割 １０．社会保障制度の課題 〇社会保障制度は，どのように発展してきたのだろうか ・社会保障制度の世界的な発展の歴史を理解する。（p.158-159） ・各国の福祉政策を比較する。（p.162） 〇日本の社会保障制度の仕組みを確認しよう ・日本の社会保障制度の概要を理解する。(p.158-159) ・日本の社会保障制度の現状（給付と負担，財源構成）を理解する。(p.159) 〇日本の社会保障制度の問題点は何か ・少子高齢化，財源不足，世代間格差，自己責任論などを考察する。(p.160-161) 〇持続可能な社会保障制度にしていくためには，何が必要だろうか ・持続可能な社会保障制度のあり方について考察する。（p.161）	a: ・社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 ・日本の社会保障制度が諸外国との比較でどのようなものであるかを知り，また，その概要を理解している。 ・少子高齢化が進行する中で，社会保障が直面している問題について，とくに財政的な課題を p.160 の図１と２から適切に読み取り，理解している。 ・社会保障は高齢者だけのものではなく，社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解している。 b: ・社会保障のあり方について，税金中心のしくみと社会保険中心のしくみでどのような違いがあるか協働的に考察し，それらを適切に表現している。 ・公的年金制度について，税方式と社会保険方式のどちらが持続可能か，また，どちらがより公平かという観点から協働的に考察し，それらを適切に表現している。 ・p.162 の Active を利用して，これからの福祉社会をどのように形成していくべきかについて，多面的・多角的に考察したうえで，給付と負担のバランスについて選択・判断し，それらを適切に表現している。			

			c: ・安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に，ノーマライゼーションの進展について学習したことを社会生活に生かそうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度